

薬は正しく使って効果が

世界一のクスリ好きの日本人。だがクスリは「両刃の剣」といわれ、使ったまま、正しく使っていない場合、副作用が期待されるもの。病院でクスリを処方された場合、用法についてちゃんと説明を受けるべきだ。

病気を治すため服用 定められた用法、用量を守り

クスリは正しく服用する



問題なのは薬店や買ってき、そのまま使ってしまう

場合、ふたを開けてすぐに口にもっていき、しっかりと説明書を読むこと。使用上の注意は正しく守り定められた用法、用量を守り

正しく守り、とくに使用上の注意はしっかりと、子供に大量のクスリを飲ませて死にさせた例もあるだけに注意が大事だ。

クスリはいつ飲んでもいいものではない。決められた時間を守らなければ効果が期待できなかつたり、強すぎた副作用を起すことがある。

とくに抗生物質(ペニシリン、テトラサイクリンなど)は時間を厳守しよう。

食前服用と書かれている時は食事前30分くらい。食後服用は食事後30分くらい。

食間服用と書かれていたら食事後約2時間。就寝前とあるのは夜寝る前30分くらい。

アレキシーの人、ぜんそくなどになりやすい特異体質の人は、とくにクスリに注意を払わなくてはならない。

特異体質の人は医師、薬剤師に相談。安易に服用していると悪

に悪化する。T細胞の生成を阻害する。同社は三年十二月に製造承認を申請した。承認後は「プロクラフ」の商品名で販売する。

新免疫抑制剤の製造承認

厚生省の中央薬事審議会は、肝臓移植に伴う拒絶反応を抑える免疫抑制剤「タクロリムス水和物」の製造を承認する。丹羽厚相に答申した。シクロスポリンなど既に製造が承認されている免疫抑制剤に比べ抑制効果が高く、副作用は少ないという。肝臓移植の成功率が大幅に高まり、同省は四月上旬

にも承認する。タクロリムス水和物は、医薬品メーカー「藤沢薬品工業」(本社大阪)が、臨床試験では、生体部

副作用が少なく

肝臓移植の成功率向上に期待

市)が茨城県つくば市の分肝移植手術を受けた患者二十四人に投与したところ、十七人が現在も生存しており、このうち十人は移植手術から二年以

に悪化する。T細胞の生成を阻害する。同社は三年十二月に製造承認を申請した。承認後は「プロクラフ」の商品名で販売する。

わぬ事故を起すことになり、特異体質の人はよく医師、薬剤師に相談しよう。

病気を治すために服用したクスリで事故を起したのでは話にならない。

クスリというのは置かれてある状態によって変質してしまふ。

温度、水分、光線などで変質する。効かないのなら、かえって害になるかもしれない。

使用期間が表示されているのでしっかりと確かめること。

古くなったクスリは処分。このとき誤飲されないように注意。

いつまでも古いクスリをクスリ箱にしまっていないかをときどき点検すること。

クスリはそのままの状態で

薬の保管は涼しい場所に保管

それによって変質してしまふ。ビンや缶のふたをしかりと閉め、日陰の涼しい場所に保管するよう。

漢方薬の場合は風通しのいい場所。

クスリを違う容器に入れたり絶対にしてはいけないこと。

たくさん飲めば効くだろうと考えるのは間違い。副作用で苦しむのがオチ。

とくに子供やお年寄りは代謝機能(肝臓、腎臓)の働きが未熟だったり、低下しているのが危険だ。

上経過している。七人は半年以内に死した。拒絶反応は四人に計七回みられたが、いずれも軽かったという。また十二人に血圧の上昇や手の震えなどの副作用が表れた。

P3実験室を整備し実験開始

国立予防衛生研究所の筑波医学実験用霊長類センター(茨城県つくば市)は、ヒトのエイズウイルス(HIV)などをサルに感染させる実験に取り組みするため、病原体が外部に漏れないよう完全に封じ込めるP3実験室を整備する。三月末に完成後、実験を開始する予定。

HIVの感染メカニズムの解明などには人間に近い動物モデルによる実験が必要だが、チンパンジーはフシントン条約で国際取引が規制されており、実験動物として活用していくのは難しいのが実情。同センターは、実験用のサルを繁殖させているほか、HIVに似たサル特有のエイズウイルス(SIV)を感染させる研究実績があることから、今後エイズの動物実験を進めるうえで最適地という。

HIVやその合成体(キメラウイルス)の実験は、P3施設で行うことが国際的に定められている。このため、同セン

ターは既存の検疫棟をP3レベルの感染動物用実験室と細胞実験室に改築する。当面はSIVの感染実験を続けるが、将来はHIVを感染させる研究にも取り組む。サルを使った動物実験では、ミシオトル大がHIVをフタオサルに感染させた例が報告されている。